

泌 尿 器 科 学

1 担当教員名

【 研究指導教授 】 教授 佐々直人
【 科目担当者 】

2 教育目標

(1) ねらい

学生は、泌尿器科領域の代表的疾患(尿路性器腫瘍, 尿路性器感染症, 排尿障害, 尿路結石症など)の病態生理を正しく理解し, 正確な診断を行うために必要な情報の収集および得られた情報を的確に分析, 評価し, それに基づいて適切な治療法を選択することができる能力を函養する。

(2) 学修の到達目標

- ① 学生は, 尿路性器腫瘍の病理学的・分子生物学的特徴を理解し, 診療計画を立案できる。
- ② 学生は, 尿路感染症の診断手順を理解し, その診断を行い, 治療計画を立案できる。
- ③ 学生は, 排尿障害の機序を理解し, その機序克服を念頭に置いた診療計画を立案できる。
- ④ 学生は, 尿路結石症の診断手順を理解し, その診断を行い, 治療計画を立案できる。

3 授業内容

【 講 義 】	泌尿器科領域における代表的疾患の最近の諸問題について講述する。
【 演 習 】	泌尿器科学の新しい問題に関する文献の抄読および輪読更に興味ある症例の検討を行う。
【 実験研究 】	尿路悪性腫瘍, 尿路感染症, 排尿障害, 尿路結石症に対する病態, 新しい診断法, 治療法の開発について基礎的および臨床的研究を行う。

4 成績評価の方法・基準

授業で取り扱った泌尿器科領域の代表的疾患毎に症例を呈示し, 諸課題についてレポートにまとめ, プレゼンテーションおよびディスカッションを行うことにより授業内容の習得状況を評価する。

5 教科書・参考図書

Campbell Walsh Wein Urology, 12th Edition 3-Volume Set Editors : Alan W. Partin & Roger R. Dmochowski & Louis R. Kavoussi & Craig A. Peters & Alan J. Wein.
Elsevier; 2021.

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

個々の講義題目に最低限必要な予習・復習を記載するが, 各種疾患などのガイドラインを熟読し, 引用されている文献を収集し, 読破することが求められる。

講義 15 時間(予習・復習 30 時間想定)

実験研究 30 時間(予習・復習 15 時間想定)

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

- ・ 毎回の発表活動を通して, 専門的職業人に必要とされるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を修得し, 研究における指導的な役割を担うことができる。
- ・ 原則的に尿路悪性腫瘍, 尿路感染症に対する病態, 新しい診断法, 治療法の開発について基礎的および臨床的研究を行い, 論文作成を通して, 泌尿器科学分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力, 特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。
- ・ 本講義の学修を通して, 社会の諸問題を理解し, 泌尿器科学分野の研究に精通することで, 国際的視野に立った研究を遂行できる。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

各試験, レポートの成果, 問題点を明示し, それらの問題をテーマにさらに討論を行うことで, さらなる改善案を提出してもらいシステムを構築し, 実行する。

9 履修上の留意点

講義については, 実際の臨床症例を呈示し, 疾患の病態, 診断, 治療について学ぶ。実験研究においては, 主に尿路悪性腫瘍, 尿路感染症の病態, 新しい診断法, 治療法の開発について基礎的, 臨床的研究を行う。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	佐々直人	水	15:00~17:00	C棟7階教授室 D棟5階医局	内線 22145